

# 第50回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール募集要領



第49回 図画部門 岩手県知事賞  
「水見半作～祖母の田んぼ～」  
一関市立一関東中学校 2年 千葉 心遥さん

- |     |   |
|-----|---|
| 主 催 | 岩手県内各ＪＡ、ＪＡ岩手県中央会  |
| 後 援 | 岩手県、岩手県教育委員会<br>いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会<br>一般社団法人家の光協会東日本普及文化局<br>株式会社日本農業新聞東北支所、ＪＡ岩手県信連<br>ＪＡ岩手県厚生連、ＪＡ全農いわて、ＪＡ共済連岩手 |

## 第49回 作文部門 岩手県知事賞

### 「勝負飯記念日」

岩手大学教育学部附属中学校 3年 山田 結心さん

去年の二月。弟が少年野球チームに入った。ずっとやりたい、やりたいと熱望して、念願叶ってチームに入った。

四月になり、弟は四年生になった。野球はシーズンに入り、練習試合や公式戦で丸一日野球に行っていることが多くなった。それに伴って、昼食や補食を持っていく。最初は弁当箱に弁当を持っていた。ところが、毎週毎週、残してくるようになったのだ。聞けば二試合くらい予定が組まれていると十五分くらいしか休憩時間がないという。パンや簡単に食べられるものを母が用意してみたのだが、米が一番お腹一杯になるのだという。

弟は同級生の中でも体が小さく、体重も軽い。そこに丸一日運動してくるのだから、夜しつかり食べてほしいのだが、疲れて帰ってきたり、夏になり暑くなってくると食が細くなった。

そこで考えたのが、我が家の勝負飯。

おにぎりの中に具材を色々詰め込んでしまうのだ。この方法は作ってる家庭はたくさんあると思う。我が家で必ず入るのは唐揚げと昆布。中身は各々の家で様々だと思う。小さめのおにぎりに食べられる具材を入れた勝負飯は、弟にも大好評だった。残してくることが少なくなったのだ。

母が、この勝負飯を作り始めてから、私は自分の中学受験の時を思い出していた。受験の日、私の弁当は、この具材の中身がおにぎりの中に入った爆弾おにぎりだったのだ。ちよつと塩味のするご飯と、弁当箱に入る予定だった具材が中に入っているおにぎり、卵焼きとデザートに入った小さい弁当箱。

何かあると我が家では、このおにぎりが勝負飯になった。弟の場合は、いつ集合がかかって大丈夫なように一口サイズで。

まだ四年生で、控えの選手の弟はほとんど試合に出ることはなかった。七月頃からようやく、新人戦チームでの練習や、公式戦が始まったので、試合に出ることも増えた。

「美味しかったよー!」

真つ黒に日焼けした弟が帰ってくる。

「今日は試合出たの?」

「出たよ。」

「三振か? エラーか?」

そんな話をしながら弁当袋を見ると、ミニミニの勝負飯おにぎりは一つも残っていない。

ある日、卵焼きを中に入れてほしいと言ったことがあった。卵焼きはさすがに別で弁当箱だろう…。思っていたが、口には出さなかった。

朝早くから練習試合に行った弟が今日も真つ黒になって帰ってきた。

「今日ね、初めてヒット打てたんだよ!」

弟のヒット記念日

勝負飯に新たなメニューが加わった日。

おにぎりin唐揚げ、卵焼き。弟はご飯と母の作る卵焼きが世界一だ、いつも言う。

お米はどんな時も活力になる。そこに愛情というどこにも売っていない調味料が加わって、最大の勝負飯になる。

最近では弟も自分でおにぎりを握ってみることが増えた。中に具材が入っていると握るのにコツがいる、ということも最近分かったらしい。

私は今年受験生。三月には、どこかしらの高校を受験しているだろうと思う。きっとその時も、三年前と同じように勝負飯の爆弾おにぎりにちがいない。

今から弟のように具材を考えてみようか。これは合わないだろう、と思っても、ご飯と好きな具材の組み合わせなら、私も、もしかしたら弟の

「ヒット記念日」

のように、一発逆転があるかもしれない。

我が家の勝負飯、爆弾おにぎり。

これからも、私たちの背中を押してくれる勝負飯であり続けるだろう。

## 目 次

岩手県コンクール募集要領 . . . . .	1
＜参考＞全国コンクール募集要領 . . . . .	3
作文部門審査基準 . . . . .	5
図画部門審査基準 . . . . .	6
個人作品貼付用応募票（切り取り） . . . . .	7
応募者一覧表（切り取り） . . . . .	9



## 第 50 回「ごはん・お米とわたし」作文・図画 岩 手 県 コ ン ク ール 募 集 要 領

### 【趣旨】

このコンクールは、J Aグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農・地域を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作をはじめとする農業についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することを通じて、お米・ごはん食・日本食の重要性を広く周知することを目的として実施いたします。

### 【課題】（作文・図画両部門共通）

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してください。

### 【主催】

岩 手 県 内 J A J A 岩 手 県 中 央 会

### 【後援】

岩 手 県	岩 手 県 教 育 委 員 会
いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会	一般社団法人家の光協会東日本普及文化局
株式会社日本農業新聞東北支所	J A 岩 手 県 信 連
J A 岩 手 県 厚 生 連	J A 全 農 い わ て
J A 共 済 連 岩 手	

### 【応募資格】

岩手県内の小学校および中学校に在籍する児童・生徒。

岩手県内の特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。

### 【応募規格】（枚数・大きさ）

#### ●作文部門

1 部：小学校 1 年生～3 年生

（400 字詰め原稿用紙 2 枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で 800 字以内）

2 部：小学校 4 年生～6 年生（400 字詰め原稿用紙 3 枚以内）

3 部：中学校 1 年生～3 年生（400 字詰め原稿用紙 4 枚以内）

（注）作文用紙 1 枚目の 1 行目に作品の題名、2 行目に学校名、学年、氏名、3 行目から本文を書き出してください（学校名、学年、氏名が 3 行になる場合は 4 行目から本文を書き出してください）。

（注）本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

#### ●図画部門

1 部：小学校 1 年生～3 年生

2 部：小学校 4 年生～6 年生

3 部：中学校 1 年生～3 年生

B 3 判（364×515 ミリ）、もしくは四つ切り（380×540 ミリ）の市販画用紙を使用。

画材は特に制限しません。（注）地域によって多少サイズは異なります。

### 【応募規則】

- （1）作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。
- （2）他のコンテストに応募していない作品に限ります。他人の写真や作品を模写・模倣したものは応募できません。著作権、商標権、肖像権など、他者の権利を侵害する作品は応募できません。盗作や不適切な引用があった場合、審査対象外とします。
- （3）ひとりで 1 部門に 2 点以上の応募はできません。
- （4）図画作品でスローガンや文字を入れたポスター的なものや台紙に貼ったものは応募できません。
- （5）学校で応募の際は、別添の応募者一覧表（9 ページ）を必ず添付してください。記載例は（10 ページ）です。校内で選定した際は、全応募総数を記入してください。

- (6) 作品には、1点ごとに必要事項を記入した応募票(7ページ)をつけてください。  
 つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。(貼り付け見本参照)
- (7) 作品は、県コンクールの審査・表彰式終了後の令和8年2月下旬頃、J Aを通じて返却します。ただし、J Aでその後に作品を展示する場合がありますので、個人への返却が遅れる場合があることをご了解ください。
- (8) 作品の出版、放送に関する権利は、J A岩手県中央会に帰属します。入賞発表や表彰式、主催者の広報媒体(作品集、次年度の募集要領、ホームページ、テレビ、新聞等)への露出や作品展示などの広報活動、諸事業活動で使用いたします。上位入賞者につきましては顔写真を提供していただきます。ご了解の上、ご応募ください。
- (9) 応募に際して提供された個人情報、承諾なく第三者に提供しません。

#### 【締切日】

**※応募とりまとめ J Aを経由してご応募ください。**  
**※県事務局の〆切は下記のとおりですが、とりまとめ J Aの〆切は文書をご確認ください。**  
**※県事務局への応募は、令和7年9月1日(月) 必着**

#### 【審査委員】

総合委員 小 岩 和 彦 氏 (元岩手大学教職大学院特命教授)  
 専門委員 佐々木 俊 江 氏 (元中学校指導教諭)  
 専門委員 柴 田 良 輔 氏 (盛岡市教育委員会学校教育課主任指導主事)

他、岩手県農林水産部、一般社団法人家の光協会東日本普及文化局、  
 株式会社日本農業新聞東北支所、J A岩手県中央会、J A岩手県信連、  
 J A岩手県厚生連、J A全農いわて、J A共済連岩手

【審査会】第1次審査会…全国コンクールへ推薦する作品を選定

第2次審査会…本県コンクールの各賞入賞作品を選定

#### 【賞】(予定)

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| ・岩手県知事賞              | ・岩手県教育委員会教育長賞    |
| 作文・図画部門各1名 計2名       | 作文・図画部門各1名 計2名   |
| 賞状と副賞                | 賞状と副賞            |
| ・(一社)家の光協会東日本普及文化局長賞 | ・(株)日本農業新聞東北支所長賞 |
| 作文・図画部門各1名 計2名       | 作文・図画部門各1名 計2名   |
| 賞状と副賞                | 賞状と副賞            |
| ・J A岩手県五連会長賞         | ・優秀賞             |
| 作文・図画部門各1名 計2名       | 作文・図画部門 若干名      |
| 賞状と副賞                | 賞状と副賞            |
| ・学校奨励賞               | ・佳作              |
| 作文・図画部門各1校 計2校       | 作文・図画部門 若干名      |
| 賞状と副賞                | 賞状と記念品           |

※応募者全員に参加賞を贈呈する(9ページの一覧表に氏名を記載した応募者のみ)

#### 【入賞発表】

全国コンクール : 令和7年12月上旬

岩手県コンクール : 令和7年12月中旬

(応募取りまとめ J Aを経由して、入賞校、入賞者宛に通知します)

#### 【作品展示】

上位入賞作品については、盛岡市内の商業施設等で展示を予定。

期間：令和8年1月中旬～2月上旬に1～2週間程度。

#### ●送り先および問い合わせ先

最寄りの J Aを経由して  
 〒020-0022 盛岡市大通り1-2-1 産業会館内 J A岩手県中央会営農農政部  
 「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール係まで  
 TEL : 019-626-8523 FAX : 019-623-6117  
 E-mail : nosei-ko@jaiwate.or.jp



## <参考>第50回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール募集要領

### 【課題】(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

### 【応募資格】

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。

特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。

### 【応募規格】(枚数・大きさ)

#### ●作文部門

##### 1部 小学校1年生～3年生

(400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)

##### 2部 小学校4年生～6年生

(400字詰め原稿用紙3枚以内)

##### 3部 中学校1年生～3年生

(400字詰め原稿用紙4枚以内)

#### ●図画部門

##### 1部 小学校1年生～3年生

##### 2部 小学校4年生～6年生

##### 3部 中学校1年生～3年生

B3判(364×515ミリ)、もしくは四つ切り(380×540ミリ)の市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。

(注)地域によって多少サイズは異なります。

### 【応募規則】

- (1) 作品には、1点ごとに次の事項を記入した応募票をつけてください。つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。①作品の題名②氏名③学校名・学年・組④学校の所在地(郵便番号・電話番号)⑤J A名

- (2) 作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください(学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出してください)。

- (3) 作文は本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。

ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

- (4) 作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。

- (5) 応募は本人の未発表でオリジナルの作品に限ります。また、他のコンテストに応募していない作品に限ります。他人の写真や作品を模写・模倣したものは応募できません。著作権、商標権、肖像権など、他者の権利を侵害する作品は応募できません。盗作や不適切な引用があった場合、審査対象外とします。

- (6) ひとりで1部門に2点以上の応募はできません。

- (7) 合作は応募できません。

- (8) 図画作品でスローガンや文字を入れたポスター的なものや台紙に貼ったものは応募できません。

- (9) 学校で応募の際は、別添の推薦名簿を必ず添付してください。

- (10) 作品は令和8年2月中旬に返却予定です。

- (11) 作品を応募することによって、応募作品をJAグループ(後援協賛団体を含む)の広報活動および諸事業活動のために利用することに予め承諾したものとします。その際、作文の部分的な抜き出しや、図画のサイズの変更・トリミングなど一部改変させていただく場合があります。印刷等の都合上、実際の作品と色が多少異なる場合がございます。

- (12) 記入いただいた個人情報は、入賞通知・発表や表彰式などのほか、県名、学校名、学年、氏名等の一部情報についてはプレスリリース等のメディアへの発表、JAグループ(後援協賛団体を含む)の広報媒体(入賞作品集やホームページ等)への露出や作品展示などの広報活動および諸事業活動で公表・使用することがあります。上記および、法令等により開示を求められた場合を除き、承諾なくコンクール関係者以外の第三者に個人情報を提供することはありません。

- (13) 作品を応募することによって、上記の個人情報の使用に承諾したものとします。

- (14) 入賞通知後でも、当該入賞作品がすでに発表済みやオリジナルでない作品と判明した場合、応募規則への違反や、虚偽の報告が判明した場合は受賞を取り消します。

### 【締切日】

令和7年9月中旬(各都道府県によって異なります)

※全国審査応募は、10月23日午前中全国事務局作品係必着

### 【審査員】

審査委員長 尾木 直樹 氏

(教育評論家、法政大学名誉教授、臨床教育研究所「虹」所長)

作文部門 野口 武悟 氏

(専修大学教授、(公社)全国学校図書館協議会理事長)

竹村 和子 氏

((公社)全国学校図書館協議会参与)

堀米 薫 氏  
 (児童文学作家、(一社)日本児童文芸家協会理事)  
 真鍋 和子 氏  
 (児童文学作家、(一社)日本児童文学家協会評議員)  
 位川 一郎氏  
 (農政ジャーナリスト、元毎日新聞経済部編集委員)

図 画 部 門 岡田 円治 氏  
 (元株式会社 NHK アート代表取締役社長、日本美術家連盟準会員)  
 西巻 茅子 氏  
 (絵本作家)  
 東良 雅人 氏  
 (元文部科学省初等中等教育局視学官、京都市教育委員会総合教育センター指導室長)  
 郡司 明子 氏  
 (群馬大学教授)

#### 【賞】

- (1) 内閣総理大臣賞  
 作文・図画部門各 1 名——— 計 2 名  
 賞状と副賞 (記念盾及びお米券、記念メダル)
- (2) 文部科学大臣賞  
 各部門各部ごとに 1 名——— 計 6 名  
 賞状と副賞 (お米券及び記念メダル)
- (3) 農林水産大臣賞  
 各部門各部ごとに 1 名——— 計 6 名  
 賞状と副賞 (お米券及び記念メダル)
- (4) 全国農業協同組合中央会会長賞  
 各部門各部ごとに 1 名——— 計 6 名  
 賞状と副賞 (お米券及び記念メダル)
- (5) 優秀賞  
 各部門各部ごとに 15 名——— 計 90 名  
 賞状と副賞 (記念メダル)
- (6) 学校奨励賞  
 内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣  
 各賞受賞者所属校——— 計 14 校  
 賞状

#### 【入 賞 発 表】

審査会終了後、入賞校、入賞者へ主催者より通知します。新聞などメディアへの発表は、令和 7 年 12 月上旬を予定しています。

#### 【主催・後援・協賛】

##### ●主催

農業協同組合／都道府県農業協同組合中央会  
 ／全国農業協同組合中央会

##### ●後援

文部科学省／農林水産省／こども家庭庁／全国都道府県教育委員会連合会／全国市町村教育委員会連合会／日本放送協会 (NHK)／全国連合小学校長会／全日本中学校長会／(公社)全国学校図書館協議会／(公社)日本 P T A 全国協議会／(公社)米穀安定供給確保支援機構

##### ●協賛

全国農業協同組合連合会／全国共済農業協同組合連合会／農林中央金庫／(一社)家の光協会／(株)日本農業新聞／全国厚生農業協同組合連合会／(一社)全国農協観光協会

#### 【送り先および問い合わせ先】

最寄りの農業協同組合「作文・図画コンクール」係  
 もしくは  
 都道府県農業協同組合中央会「作文・図画コンクール」県事務局へ  
 (各都道府県によって異なります)



本コンクールの審査基準は以下の通りです。応募の際にはご注意ください。

作文部門審査基準
----------

“上手な作文”よりも下記の点で“よい作文”を評価する。

1. 課題に沿った作品であること。
2. ごはん・お米に関わる事柄や問題点を、年齢相応に正しく理解しており、かつ、年齢相応の言葉で表現していること（子どもはよく難しい言葉を使いたがるが、年齢に馴染まないものは、好ましくない）。
3. 問題のとらえ方や、考え方が素直であり、かつ自分の意見・感想を率直に述べていること。
4. 自分の生活経験がにじみ出ていること（抽象的、一般的なことのみに終始するものは好ましくない）。
5. 作品全体に希望や明るさが感じられること。
6. 規定の枚数であること。
7. 誤字、脱字がなく、その他の表記(かぎっこや句読点など)も正確であること（誤字、脱字、添削跡などについては減点の対象になります。必要に応じ、本人に差し戻し、清書させてください）。
8. 作文用紙は1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出す（学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出す）。

## 図画部門審査基準

### <主題のとらえ方について>

1. 子どもらしい発想を尊重する。子どもは時流に敏感なので、のびのびした明るく楽しいアイデアがあるものがよい。
2. 理解させるためディスカッションすること。
3. 宿題的な押しつけで描かせないこと。

### <基準について>

(次のようなものは審査の対象外になります)

1. ごはん及びお米を主題としていないもの。
2. スローガンや文字を入れたポスター的なもの。
3. おとぎ話や童話をモチーフにしたもの。
4. 漫画やアニメなどのキャラクターを挿入したもの。
5. おむすびやお米に顔や手・足の出ているもの（擬人化したもの）、および実在しないもの（空想やファンタジー性のあるもの）。
6. 石、木片などを貼りつけたもの。
7. 紙の寸法が極端に大きかったり小さいもの。
8. 紙がボール紙のように厚かったり、半紙のように薄いもの。
9. 台紙に貼って応募したもの。
10. メーカー名や企業名、ロゴマークなどを使用したもの、および宣伝になる恐れがあるもの。
11. パソコンなどでデジタル的に描かれたもの。

ただし、キャンバスボードに油絵で描いたもの、あるいは石版画、シルクスクリーン、木版、スクラッチボードなどを利用したものは基準内として審査対象とします。

また、いわゆる「切り絵」や「貼り絵」についても審査対象とします。

12. 道路交通関連法規などへの違反が疑われるもの

(例. トラクターの乗車定員オーバー（2人乗り）、乗車装置でない荷台に乗った姿が描かれたものなど)

個人作品貼付用 応募票

作品番号	都道府県コード	作品番号	部門
			作 文 ・ 図 画
フリガナ 作品の題名			
フリガナ 氏名			
フリガナ 学校名	学校		学 年
			年 組
学校所在地			
電話番号			
JA 名			

(注)

1. 必要事項を記入の上、作文は最後のページ中央、図画は作品裏面中央に下図”のりしろ”部分のみ貼付（のり付け）してください。  
(太い枠で囲まれた部分は必ずご記入ください)
2. コピーして作品に貼付してください。
3. 都道府県コード、作品番号は記入不要です。(県段階で記入します)

【貼付見本】

<p style="text-align: center;">裏面</p> <p style="text-align: center;">(作文は最後のページ裏面)</p> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; text-align: center;">のりしろ</div> <div style="text-align: center;">応募票</div> </div> </div>
---



# 応 募 者 一 覧 表

学 校 名 : \_\_\_\_\_ 小・中学校

電話番号 : \_\_\_\_\_ ご担当者名 : \_\_\_\_\_

扱い J A 名 ( J A )

	作文・図画 部門・部別	学年	氏 名	フリガナ
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

※上記の児童・生徒を応募するにあたり、校内で選定した場合は、全応募総数を記入してください。

全応募総数 \_\_\_\_\_ 点



応募者一覧表（記載例）

学 校 名：      ○○市立                                  ○○○    小・中学校

電話番号：                      ご担当者名：

$$\text{扱い J A 名} \left( \begin{array}{c} \text{J A} \end{array} \right)$$

	作文・図画 部門・部別	学年	氏 名	フリガナ
1	図画 1 部	2 年	岩 手 太 郎	イワテ タロウ
2	作文 2 部	4 年	盛 岡 花 子	モリオカ ハナコ

このコンクールは、岩手県コンクールと全国コンクールの2段階制とします。

岩手県コンクールに応募いただいた作品の中から、優秀な作品を全国コンクールに推薦します。(岩手県コンクールを経由しない作品は全国コンクールに応募できません。)

